

秋号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和6年1月14日(日)10:00~12:00
14:00~16:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：各20名

内容：季節の寄せ植え

受講料：500円

募集期間：令和5年12月19日(火)9:00から
令和5年12月27日(水)17:00まで

申込方法：電話又は窓口で受付

定員を超えた場合は抽選となります。

【みどり講習会】*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

① 日時：令和5年10月22日(日)10:00~12:00

内容：冬の手入れ方法

② 日時：令和5年11月26日(日)10:00~12:00

内容：土壌改良、肥料

③ 日時：令和6年3月10日(日)10:00~12:00

内容：庭造りのポイント

* 樹木医による園芸に関する講座です。

今年の夏の異常な高温や県内での降水量の少なさにはまいりました。また線状降水帯が発生したところでの豪雨災害もおこり悲惨な状況でした。これがニューノーマルということなのでしょうか。このような状態が平年並みとなっていく事が危惧されます。地球温暖化の影響がこのような事象を起こしているのでしょうか。先ずは地球規模での二酸化炭素の排出抑制と吸収が大事ですね。四季のある国から二季の国にはなってほしくはないですね。自然に触れあい秋から冬を感じ取りたいですね。



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

この夏は異常な高温と雨の少なさで水やりが毎日の日課になってしまったような状態でした。それでも雨とは違いホースの先から出る水は限られているので弱ってしまった植物は多いと思われます。葉が水不足で茶色に焼けてしまった樹木は来年以降も乾燥の害を受けやすくなります。秋の彼岸過ぎからは時々雨があるのでホッとします。ただこれからでも乾燥が続くときには水やりは必要です。温度も下がってきたので日中でも大丈夫です。枝先からすべてに水をかけることによって葉についた汚れも取れます。霜が降りる頃からは暖かい時間帯に水やりをおこなったほうが良いですね。

【植替え】

常緑広葉樹（サザンカやキンモクセイ等の一年中葉をつけている植物）は寒さが来る前まで行えませんが大事なものは来春まで待ちます。新しい根が伸びる前に寒さが来てしまうと弱ってしまいます。マツなどの常緑針葉樹は霜が何度か降りてからのほうが失敗は少ないです。それでもベストなシーズンは春先です。落葉広葉樹は11月の落葉後からがベストなシーズンになります。但しボタン類は10月なるべく早く行います。カエデ類は遅くとも年内に行います。鉢植えのものを植える場合には根を痛める心配が少ないのでこの限りではありません。

【肥料】

これからは果樹類で収穫後にはお礼肥えとして肥料をあげます。ほかの多くの場合は来年の春先（2 月頃）に行う寒肥が大事になります。いつまでも肥料をあげ続けていると軟らかく育ち耐寒性が落ちて寒害を受けやすくなります。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤散布がお勧めですね。



写真はイラガの幼虫です。夏から秋にかけて大量に発生している事があります。刺されるとひどい痒みがおこります。広葉樹の葉裏にいて食害をしています。葉と同じような色をしているので見つけにくいです。もう既に蛹となって硬い殻（ウズラの卵を小さくしたような状態で幹に着生）に包まれているものも多く見られます。見つけ次第取り除いておくと来年の発生を抑えられます。



上の写真はうどん粉病になったモミジです。病気になった葉や枝を放置すると病原菌や害虫の越冬場所となり来年も発生しやすくなります。掃き集めて処分したほうが無難です。防除しにくい病害虫には冬季のみに使用できる薬剤があります。

【剪定】

これからは常緑広葉樹の剪定は徒長枝や内側の混みすぎた枝を整理する程度にします。常緑針葉樹も強い剪定を行うと来春の芽の吹きが悪くなってしまいます。来春まで待ったほうが樹木へのダメージは少ないですね。落葉樹はこれからの時季が適期になります。しかし切りすぎでは樹木を弱らせてしまったり樹形が乱れ観賞価値が下がってしまいますので注意が必要です。樹木にはそれぞれに綺麗に見える形がありますのでただやみくもに切ったのでは台無しです。

【冬越し】

現在はドライガーデンといってヤシやソテツなどを植えたりすることが多くあります。またブルーブッシュなどの暖かい所を好む植物も植えたりもします。そうすると必要なのが冬越しの温度管理です。鉢植えでしたら室内などに取り込めばよいのですが庭植えの場合は保温が大切になります。そして冬でも光合成を行いますから光も必要です。寒さを防ぎながら光も透過するような資材（野菜に使うべた掛けシートなど）で覆ってあげるとある程度は効果があります。また根元の周りを落ち葉などで覆ってあげると地面の凍結防止になり余計に効果を高めます。

【この時期のハナカツミ】

これからは葉が黄葉しそして枯れて越冬します。鉢植えの場合は枯れた葉を根元から切って寒さの当たらない軒下などで冬越しさせます。葉がないからといっても水分は必要です。水切れに注意してください。庭植えの場合は葉を残しておいて寒さ除けにしておいたほうが傷むことが少ないようです。